

白丸
山
たく
形
大槌
藝
術
界
隈
展

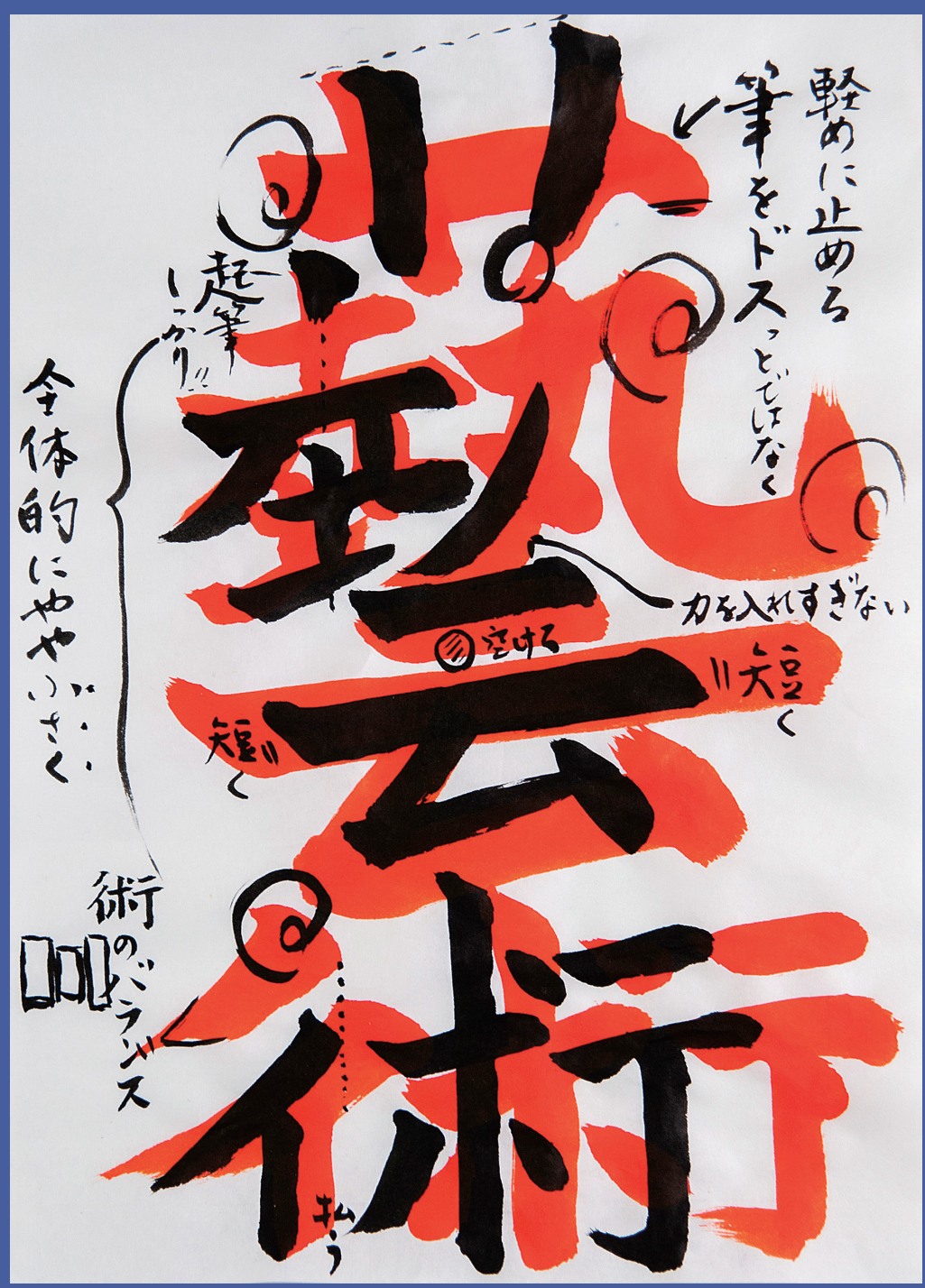
Takuro Shiromaru
Yamagata
Geijyusai
Kaibun
Exhibition
Volume
Zer-o-two
Takuro Goto

山形若手
アーティスト展
Vol. 8

2017.3.1 → 20 [水] 月祝

※休館日は3.6日と3.13日です。

会場：白鷹町文化交流センターあゆーむ [観覧料：一般200円 / 高校生以下無料]



※上は後藤拓朗(1982-)のアート作品《藝術》(2017)らしいです。

and more...

Open 9:00 — 17:00 Close

主催・お問い合わせ：白鷹町文化交流センターAYu:M(あゆーむ)
山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331 Tel:0238-85-9071 Web:www.ayu-m.jp

※図案はアイハラケンジ(halken LLP)が担当なんです。



※写真はゲストの登坂尚高さんだそうです。

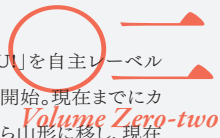
拓朗

山形藝術界隈展

Yamagata Geijyutsu Kaiwai Exhibition

【白丸たく／しろまるたく】

1992年兵庫県生まれ。2014年2月、1stカセットアルバム「F.O.U.」を自主レーベル「TRIP CHILDS RECORDINGS」からリリースすると共に活動開始。現在までにカセットテープ3本、CDR1枚をリリース。2016年より拠点を関西から山形に移し、現在は山形市中心市街地にあるシェアアパート「ミサワクラス」の自室にてオルタナティブスペース「TRIP CHILDS LIVINGROOM」を運営中。ミロコマチコ展示「あっちの目、こっちの目」会場音楽担当(山形ビエンナーレ2016／文翔館議場ホール)。



【山形藝術界隈とは】

2016年9月に山形市中心市街地の御殿堰芝生広場において開催されたアートの市「芸術界隈」から派生した芸術運動体です。絵画・音楽・パフォーマンス等それぞれの表現活動を行っているメンバーが集まり、既存の枠組みに捕われない新たな作品制作・発表のあり方を模索しています。本展覧会は、2月に山形市で行われた展覧会「山形藝術界隈展」の第2弾を、白鷹町文化交流センターの山形に關係の深い若手アーティストの展覧会シリーズとして開催するものです。

【開催概要】

会場：白鷹町文化交流センターあゆーむ

会期：2017年3月1日(水)→3月20日(月・祝) 9:00—17:00

観覧料：一般200円／高校生以下無料

※同時開催：そば猪口アート公募展

【関連イベント／大槌秀樹によるパフォーマンス『市民の言葉を語る』】

開催日：3月1日(水)、4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)、18日(土)

時間：各日とも11:00—17:00 場所：白鷹町文化センターギャラリー内

※申込み不要。ただし当日の観覧券が必要。

来場者の皆様の言葉を、大槌秀樹が演説代行して展示会場内「展望場」にて、拡声器を使い語ります。普段なかなか言えない事や、ここにいない誰かに伝えたい事、告白や思いで話など。できる限り本文通り代行して語りしたいと思います。

【関連イベント／ライブ&ラジオ収録】

開催日時：3月19日(日) 13:30— 場所：白鷹町文化センターギャラリー内

※申込み不要。ただし当日の観覧券が必要。

〈タイムテーブル〉

●13:30—「芸術界隈ラジオ ひさまつ子の美術の部屋」公開収録

出演：白丸たく、大槌秀樹、久松知子、後藤拓朗

●15:00—白丸たく企画ライブ「ZeNTeNGiG vol.1」

出演：白丸たく、登坂尚高、千葉昂平

〈ゲストプロフィール〉

●登坂尚高：1987年生まれ、山形出身。zombie foreverよりカセット『ネオン』リリース。実家のお寺で「寺フェス」主催。暮らしと生活を軸に、歌心ある六畳フォークを目指す。彼女募集中。どうしても出来るんですか？

●千葉昂平：宮城県出身。跡地、西比利屋でギターを担当。ノイズやパフォーマンスをやる最中ひっそりと弾き語りでのソロ活動を開始。

〈3月19日イベント来場者プレゼント〉

当日発行予定の「山形藝術界隈新聞」第2号を配布！「山形藝術界隈新聞」とは、市民による芸術活動とその周辺の生活などについて記載された不定期刊行の新聞です。

【大槌秀樹／おおづち・ひでき】

1981年千葉県生まれ。東北芸術工科大学大学院実験芸術領域修士。オルタナティブ・シェアアパート「ミサワクラス」で、同世代のアーティスト・写真家・音楽家・建築士等と共同生活。身体と物質・空間とのある行為から生まれる事象の記録を、映像や写真、パフォーマンス等で表現している。現在は空洞化した街の廃墟や駐車場、空白となった場を舞台に、その場に残る記憶や事実をもとに同居人とパフォーマンスを実行。又、他者の言葉を代行して語る、「演説代行」を実践・記録する作品制作をしている。

【久松知子／ひさまつともこ】

1991年三重県生まれ。現在、東北芸術工科大学日本画領域の大学院生。2015年《レベゼン 日本の美術》で第18回岡本太郎現代芸術賞岡本敏子賞受賞。主なグループ展に「みちのおくの芸術祭 山形ビエンナーレ2016」(文翔館、2016)、「東北画は可能か?—地方之國構想博物館—」(東京都美術館、2015)ほか。

【後藤拓朗／ごとうたくろう】

1982年山形市生まれ。東北芸術工科大学洋画コースを卒業後、美術非常勤講師として勤務する傍ら、山形県白鷹町のアトリエにて作品を制作。オープンアトリエを中心に発表活動を行う。マスメディアやインターネットを通じて得られる情報と身の生活風景との結びつきを探り郷土画として表現した油彩作品などを制作している。

【3月19日限定 予約制シャトルバス運行予定】

〈往路〉

11:45 山形駅西口霞城セントラル前発 17:00 白鷹町文化交流センター発

12:00 東北芸術工科大学前発 18:00頃 東北芸術工科大学前着

12:50頃 白鷹町文化交流センター着 18:15頃 山形駅西口霞城セントラル前着

※3月15日(水)までに0238-85-0771(白鷹町文化交流センター)まで、お名前・人数・ご連絡先・希望の乗場をお伝えの上ご予約ください。規定人数10人に満たない場合運行できない場合もありますので、ご了承ください。定員に達し次第締め切ります。

〈復路〉

【会場へのアクセス・お問い合わせ先】

白鷹町文化交流センターAYu:M(あゆーむ)

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

お車でお越しの場合／山形市より国道348号線で約35分

電車でお越しの場合／赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線

[荒砥行き]で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

Tel:0238-85-9071 web:www.ayu-m.jp

Facebook:www.facebook.com/白鷹町文化交流センターあゆーむ-599128166776692/



関連イベント出演者・写真左上より時計回りに：大槌秀樹、白丸たく、登坂尚高、千葉昂平